

| | | | | | | | | | |
|--|------------------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------|-------------------|-----|------------|-----|------|
| 科目名 | デザイン研修3 | | | | | | | 年度 | 2026 |
| 英語科目名 | Design Study 3 | | | | | | | 学期 | 通年 |
| 学科・学年 | デザイン科 プロダクトデザイン専攻 3年次 | 必/選 | 選 | 時間数 | 30 | 単位数 | 1 | 種別※ | 実習 |
| 担当教員 | 大山敏弘 | 教員の実務経験 | | 有 | 実務経験の職種 | | プロダクトデザイナー | | |
| 【科目の目的】 国内でのデザイン研修旅行を通して、実際のデザインに触れる場や文化・地域資源を体験し、デザイナーとしての視野を広げる。事前学習と事後整理を通して、学びを自分の創作活動に活かす力を養う。 | | | | | | | | | |
| 【科目の概要】 希望者による選択科目として、研修旅行を実施する。事前に訪問先の背景や目的を調査し、旅行中には施設見学・ワークショップ・地域観察などを体験する。帰学後には報告レポートや成果共有を行い、学習内容を整理・発展させる。 | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 本科目では以下を目標としている。A：学生は研修先の背景や目的を十分に理解し、事前学習を通して明確な目的意識を持って研修に臨む。B：現地では主体的に観察や体験を行い、多角的な学びを獲得できる力を身につける。C：得られた体験を詳細に記録し、自分の言葉で整理・発表する能力を養う。D：他者の意見や文化的視点を尊重し、自らの学びや考えに取り入れる姿勢を身につける。E：研修での体験や学びを自身のデザイン活動や今後のキャリア形成に応用できる力を育成する。 | | | | | | | | | |
| 【授業の注意点】 デザイン研修参加希望を保護者同意の上、決定したら申込締切日までに担任へ申し込むこと。また、終了後は、必ず担任へ報告し、速やかにレポートを提出すること。 | | | | | | | | | |
| 評価基準＝ルーブリック | | | | | | | | | |
| ルーブリック 評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 | | | | |
| 到達目標 A | 研修先の情報を深く調査し、目的意識を明確にして臨んでいる | 必要な情報を調べ、学びの目的を整理できている | 基本的な情報を把握し、研修に臨んでいる | 調査が不十分で目的意識が弱い | 準備をほとんど行っていない | | | | |
| 到達目標 B | 主体的に観察・質問・体験を行い、多角的に学んでいる | 積極的に体験し、観察を通して理解を深めている | 指示に従って体験し、観察を行っている | 体験が受け身で、学びが限定的である | 体験や観察に消極的である | | | | |
| 到達目標 C | 詳細な記録を残し、自分の言葉で論理的にまとめている | 必要な記録を整理し、学びを分かりやすく表現できている | 基本的な記録を行い、要点を整理できている | 記録が断片的で整理が不十分である | 記録や整理をほとんど行っていない | | | | |
| 到達目標 D | 見学した視点を積極的に取り入れ、学びを広げている | 見学した視点を理解し、自分の学びに反映している | 見学した視点を参考にしているが活用は限定的である | 見学した視点を十分に理解・活用できていない | 見学した視点や文化を無視している | | | | |
| 到達目標 E | 体験を今後の活動やキャリア形成に具体的に活かしている | 体験を今後の活動に活用できる方向性を示している | 今後に活かす姿勢を示しているが具体性に欠ける | 今後への活用が不十分である | 体験を今後に活かす意識が見られない | | | | |
| 【教科書】 特になし | | | | | | | | | |
| 【参考資料】 | | | | | | | | | |
| 【成績の評価方法・評価基準】 レポート60% 授業内容の理解度を確認するために実施する。 平常点40% 授業内容の理解度を確認するために実施する。 | | | | | | | | | |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。 | | | | | | | | | |

| 科目名 | | デザイン研修 3 | | | 年度 | 2026 |
|------|-----------|----------------|--------------|-----------------------|------|------|
| 英語表記 | | Design Study 3 | | | 学期 | 通年 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | オリエンテーション | 研修旅行の目的を理解する | 1 研修の概要説明 | 研修の意義を理解し、準備課題に取り組める | 2 | |
| | | | 2 訪問先や行程の紹介 | | | |
| | | | 3 事前課題提示 | | | |
| 2 | 事前学習① | 訪問先の理解を深める | 1 訪問先の調査共有 | 研修内容への関心を高め、調査の視点を持てる | 2 | |
| | | | 2 質問事項の整理 | | | |
| 3 | 研修旅行1日目① | フィールド観察を行う | 1 集合～移動 | 施設の見学を通じ、観察・記録できる | 2 | |
| | | | 2 施設見学① | | | |
| | | | 3 記録（写真・メモ） | | | |
| 4 | 研修旅行1日目② | デザイン事例を体験する | 1 施設見学② | 現場を体験し、自分の学びを言語化できる | 2 | |
| | | | 2 ワークショップ体験 | | | |
| 5 | 研修旅行1日目③ | 初日の体験を整理する | 1 宿泊先での振り返り | 1日の学びを記録し、整理できる | 2 | |
| | | | 2 指導・助言 | | | |
| 6 | 研修旅行2日目① | 新たな視点で観察する | 1 地域散策 | 地域からデザインの視点を発見できる | 2 | |
| | | | 2 地域資源観察、記録 | | | |
| 7 | 研修旅行2日目② | 観察と体験を深める | 1 施設見学③ | デザインに関する知識を現場で学べる | 2 | |
| | | | 2 質疑応答 | | | |
| 8 | 研修旅行2日目③ | デザインの視点で整理する① | 1 体験ワークショップ② | ワークショップを通して新しい発想を得られる | 2 | |
| | | | 2 グループ意見交換 | | | |
| 9 | 研修旅行2日目④ | デザインの視点で整理する② | 1 体験ワークショップ② | 学んだ内容を言語化し、次に活かせる | 2 | |
| | | | 2 記録整理 | | | |
| 10 | 研修旅行2日目⑤ | 学びをグループで共有 | 1 班ごとの体験まとめ | 他者の体験を聞き、多角的な視点を得られる | 2 | |
| | | | 2 フィードバック | | | |
| 11 | 研修旅行3日目① | 最終日を計画的に取り組む | 1 施設見学④ | 自分の興味に沿った学びを深められる | 2 | |
| | | | | | | |
| 12 | 研修旅行3日目② | デザインの視点で整理する③ | 1 施設見学④ | 学んだ内容を言語化し、次に活かせる | 2 | |
| | | | | | | |
| 13 | 研修旅行3日目③ | 研修全体を振り返る | 1 研修レポート方向確認 | 学びを整理し、報告書につなげられる | 2 | |
| | | | | | | |
| 14 | 事後まとめ① | レポート作成を行う | 1 体験記録を整理 | 研修の成果を文章化できる | 2 | |
| | | | 2 デザインとの関連考察 | | | |
| 15 | 事後まとめ② | 成果を提出・共有する | 1 レポート提出 | 研修成果を表現し、次の活動につなげられる | 2 | |
| | | | | | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等